

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【公表番号】特表2007-503942(P2007-503942A)

【公表日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-008

【出願番号】特願2006-525595(P2006-525595)

【国際特許分類】

A 6 1 L 9/12 (2006.01)

A 0 1 M 1/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 9/12

A 0 1 M 1/20 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月12日(2007.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

揮発性液体を大気中に散布するように適合された装置であって、該装置が、揮発性液体を含む貯留槽および、液体を貯留槽から大気に貯留槽のオリフィスを介して輸送する液体輸送部材を含み、該貯留槽オリフィスが、突き破り可能な膜により閉鎖されており、輸送部材が、液体から離間した側の膜の面側においてオリフィスに隣接して配置されており、これが、突き破り可能な膜を貫通して貯留槽中の液体中に押し込まれ、次にこれと接触して保持されて、貯留槽から大気への液体の流れを可能にすることができるよう適合されている、前記装置。

【請求項2】

液体輸送部材が、毛管路を含む、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

大気中に放出されるべき揮発性液体の安定した輸送、続いて当該液体の大気中への有効な放出を提供する方法であって、突き破り可能な膜により閉鎖されたオリフィスを有する、揮発性液体の貯留槽を提供すること、および、膜を突き破るように適合された少なくとも1つの液体輸送部材を、当該膜を貫通して押し込み、輸送部材が貯留槽中の液体と液体輸送可能に接触し、この液体輸送可能な接触を維持する程度に、膜を突き破ることを含む、前記方法。